

令和7年度 藤枝明誠高等学校 年間学校評価

※評価基準 A：十分に実践されている B：ある程度実践されている C：不十分である D：わからない

教育目標	「学園は、教える者と教えられる者とが、相互の信頼によって相互に生かされる精神的な共同体」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。						
経営方針	「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操」を培う。 また、日本人としての美徳を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。						
重点目標	I 学習指導の充実	II 進路指導の充実	III 心豊かでさわやかな生徒の育成	IV 広報・渉外活動の充実	V 教育施設・設備の活用		
項目	令和7年度具体的な方策または評価項目を評価する具体的な指標 ※【 】は数値的目標	令和6年度実施結果(成果は○、改善すべき事項は◇) ※丸数字は左欄丸数字の項目に対応	学校自己評価		学校関係者評価		
			評価	教員コメント(69名)	評価	学校関係者評価委員コメント(8名)	
I 学習指導の充実	<b>授業改善への取り組み</b> ①生徒の意欲が高まるような分かる授業を実践するとともに授業改善に努め、授業アンケートの結果向上を図る。 <b>【授業満足度調査(生徒)を年2回実施】</b> <b>【生徒の授業満足度(満足+どちらかといえば満足の比率)95%】</b> ②各科、各クラス間、各教員間の指導の格差の改善を図る。 ③定期テスト後に教科会議を開催し、学力定着度の検証及び教科指導の改善を行う。 ④各教科でテーマを設定した研究授業を行い、授業力の向上に努める。	①○授業満足度調査を2回実施し、【生徒の授業満足度(「満足」+「どちらかといえば満足」の比率)】は目標値に届かず、94.1%(R5)から93.8%に低下した。中学では「授業集団の雰囲気」、高校では「説明の内容」の項目において、満足度の比率がやや低かった。 ②◇各科、各クラス間や教員間の指導の格差がまだあるため、教科内での検討・指導等、更に改善が必要である。 ③○教科会議を毎週行える状況(時間割)があり、指導の改善のための教科会議が実施されている。 ④◇テーマを設定した研究授業が実施されなかった。	A	・日々の授業を大切にすることで達成できている。 ・授業アンケートの結果を見ると生徒の満足度は高く保たれている。 B ・形式にとらわれず、お互いの授業を参観して参観レポートなどを提出してはどうかと思う。 ・授業力向上のための勉強をする人がこのところ増えたように思います。 C ・タブレット端末の活用で一定の成果があると感じた一方、関係ない使い方をしている生徒が少なからずいる。 D ・より効率的な技能習得を可能にするため、段階的な指導法を取り入れながら生徒個々へのアプローチを行った。 ・個々の先生の技量に任されて授業が行われている。目指す目標などを明確にしたほうがよい。 ・教員のスキルはあると思われるが、IT化への全体の取り組み、研究・公開授業がなされていない。 ・授業アンケートを有効に活用する方法を検討すべきかと思えます。 ・他校の実践例を見学する機会が欲しい。 ・毎年変化する生徒の個性、能力に合わせて授業を工夫しようと思っているが、今年度は授業のコマ数も多く、授業以外の業務が多忙で十分にできなかった。 ・授業アンケートのフィードバックが十分になされていない。	A	・授業満足度調査結果は高水準を維持している。工夫を凝らした授業を展開されていると思うが、改善すべき事項もあり、学校全体で更に向上するための取組を活性化させてほしい。 ・授業アンケートを有効活用し、生徒がより良く理解できる魅力的な授業にしていってほしい。 ・授業アンケートでは、生徒からの要望等を入力する自由記述欄があるとよい。 D ・学内の教員だけでなく他校とも連携した取組、仕組みづくりに期待します。	
			20%		64%		12%
学力の定着と向上に向けたきめ細やかな指導	① 放課後プロジェクトや「9時まで学習」の一層の活性化を図る。 <b>【9時まで学習参加率65%以上目標】</b> ① 予習、復習、宿題の提出・点検指導等の徹底を図る。 ② 英語検定指導等を継続して組織的に行う。 <b>【英検2級300名以上、準1級20名以上】</b> ④ 学力の基礎である国語力(文章読解や表現力)の向上のための取組を行う。 <b>【小論文指導】</b> ⑤ 国際教養教育を推進する ⑥ 普通科生徒の学力・学習意識向上のための指導を実施する。 ⑦ 大学入試に対応した問題を定期テストに導入する。	①◇図書室における放課後プロジェクトの参加は前年並みであった。 ○例年以上に職員室及び職員室前フロアで、積極的に個別指導を受ける生徒は増加した。 ○「9時まで学習」の参加率は、65%で前年度の57%より上昇し、数学・英語・国語における共通テスト対策の基礎講座の参加は盛んであった。 ②○各教科・各学年において、細かな指導が実践された。また『明誠ダイアリー』を利用した学習習慣確立のための指導が各クラスで実施された。 ③◇【英検2級取得者数253名、準1級取得者数18名】前年より英検2級取得者数が6名減少、準1級が1名増加した。上位の級の受験推進、英語学力の全体的な底上げが必要である。 ④◇総合型選抜や学校推薦型選抜に対応していくため、小論文指導等の早期実施により、国語力の向上に努めたい。	A	・各教科担当で小テストや課題、補習授業ときめ細やか指導対応がされている。本校の強味となっていると感じている。 ・昼休みや放課後に、職員室前で個別指導を受ける多くの高校生の姿があった。 B ・コース、科によってばらつきはあるが、それぞれに見合った取り組みがなされている。 C ・教員個々のスキルと献身的な努力で取り組まれているが、学校をあげての取組を強化したい。 ・小テストのきめ細やかな実施をしていると認識しています。 D ・先生方が熱心に指導されている。 ・12月、1月以降の「9時まで学習」の参加者が少なく、実施期間については検討してもよいのではないかと思います。	A	・生徒に寄り添ったご指導がされていると思います。 ・9時まで学習の参加率が向上しているのは、生徒のやる気が高まっているということだと思うので、大変良いと思う。先生方にも一層のご協力をお願いしたい。 C ・「9時まで学習」は、教員の負担が大きいと思いますが、素晴らしい制度です。 ・専門的に学んでいる大学生の特別授業があると、生徒はより学習内容を身近に感じられるのではないかと。 ・小テストは子ども達の単元チェックにもなり、苦手・得意の箇所が確認できてよいので、各教科とも、全学年で行ってほしい。	
			33%		57%		7%

		<p>⑧家庭学習を充実させるため、オンデマンド教材の配信が実施できるように環境を整備し、配信を実施して学力の定着と向上に努める。</p> <p>⑨ICTを利用したオンライン授業が実施できるように環境を整備し、休校時等のオンライン授業実施に備える。</p>	<p>⑤○Dream Gateway Program の実施、留学生の受け入れが行われ、グローバルな視点の涵養がなされた。3月には台湾・台南市の私立南英高級商工職業学校が来校し、学校交流が行われた。</p> <p>⑥◇各学年、教科毎に対応を行っているが、統一した計画による実施には至らなかった。</p> <p>⑦○各教科において、大学入試共通テストに向けて定期テスト等の工夫を行っている。</p> <p>⑧◇スタディサプリを全生徒が使用できる状態となっており、到達度テストを受けての学力補充のための講座を学年・教科で積極的に配信したい。</p> <p>⑨○Wi-fi 環境及びプロジェクターの全教室設置が行われ、授業時に活用された。また、休校時等にオンライン授業配信を実施する環境は整った。</p>				
Ⅱ 進路指導の充実	進路希望の達成に向けたきめ細かな指導	<p>① 進路講話や個別面談、総合的な学習等(キャリア教育の推進を含む)により目標設定と進路意識の早期確立を図る。</p> <p>② 教員の教科・進路指導の力量向上を図る。</p> <p>③ 教科検討会で模擬試験結果の検討を行い、生徒各個人に対応した指導を行う。</p> <p>④ 生徒の満足度の高い進路指導を行い、大学への現役合格達成を図る。</p> <p>【現役合格 95%】</p>	<p>①○高校1年生の進路ガイダンスでは河合塾「R キャンプ」を使い、文理選択研究の一助とした。後期は外部講師による大学選びについて講演を行い進路意識の高揚に役立てた。</p> <p>○高校3年生対象の大学説明会、高校2年生対象の学部・学科説明会では40大学に来校していただいたが、上位校をもっと充実させたい。生徒たちは熱心に説明を聞き、進路目標の設定・進路意識の高揚に大きな意義があった。</p> <p>○高校2年生で活用した『志望理由書・マスターノート』は、新入試に対応する教材として今後も活用したい。</p> <p>②◇新課程入試についての広報を心掛けたが、研修会の必要があった。</p> <p>③◇外部模試後の分析・検証の機会が持てなかった。</p> <p>④◇四大志望者の大学現役合格率は97.3%で目標の95%を上回った。ただ浪人が15人(昨年は5名)で在籍数の4.0%(昨年2.0%)であった。</p>	A 42%	<p>・部活動の先生方は勧誘してきた生徒を各大学のセレクションなどを積極的に活用し進路に繋げている。</p> <p>・普通科生徒の一部には高い学力の生徒がいる。この生徒たちへの担任と部活動顧問とのアプローチをどうするのか。少しでも高い水準の大学に引き上げていくための協力体制が必要だと感じる。</p> <p>・担任との面談活動など、時間をかけて丁寧に進められている。大学調査などの選択肢も提示されている。</p> <p>・各先生が経験を活かし、私学人として、指導に当たっている。</p> <p>・進路課、各担任を中心に充実した内容となっている。</p> <p>・外部模試が多いのは生徒の受験練習になるので非常にいいと思うが、外部実施の模試に出ていくことで、環境慣れとかもするので、実施していければと思う。</p> <p>・進路希望が持てるようになることを目指していると思います。</p> <p>・総合型選抜は、現状、個々の教員で対応している状況に感じるが、対応が難しいものもある。学校として対応していく必要を感じる。</p>	A 25%	<p>・大学現役合格率が非常に高く、生徒のことを考え熱心で丁寧な先生方の対応のおかげであると思う。</p> <p>・志望理由書や自己推薦文、小論文等の指導をより手厚く行い、総合型選抜への対応を更に進めてほしい。</p> <p>・高2など早い段階から生徒自身が進路を意識できるよう、きめ細やかな指導をお願いします。</p> <p>・大学説明会の充実を今後もよろしく願います。</p>
	難関大学等の合格に向けた指導	<p>①国公立大学及び難関・中堅私立大学に合格できるような学習・進路指導を推進する。</p> <p>国公立大学の総合型・学校推薦型選抜にも積極的に挑戦する(学研小論文講座の活用)。</p> <p>【第3学年 進路目標】</p> <p>東大・京大・国公立大医学部・東京科学大・一橋大→複数合格</p> <p>旧帝大→二桁合格</p> <p>国公立大→80名以上</p> <p>(静岡大・静岡県立大・静岡文芸大→40名以上)</p> <p>早・慶・上→10名以上、</p> <p>GMARCH・東京理科・関関同立→60名以上</p> <p>②旧帝プロジェクト(上位層の強化)</p> <p>③共通テスト対策講座</p> <p>※②、③共に「9時まで学習」の時間を活用</p> <p>④医進プロジェクトで国公立大医・薬等の指導強化</p>	<p>①◇2024年度入試の国公立大学合格数は、総合型選抜・学校推薦型選抜15名、前期40名、中後期7名で計62名であった。在籍数に対する国公立合格者の割合は17%であり、昨年の計65、20%を下回る結果となった。主な内訳は旧帝は東北大1、大阪大1、地元の静岡大13、静岡県立大10等であった。難関私大は、早稲田大2名、慶應義塾大1名、東京理科大2名、明治大7名、青山学院大3名、立教大2名、中央大6名、法政大5名、関西大3名、関西学院大4名、同志社大1名、立命館大1名、計38名であった。</p> <p>②○◇最難関大学に挑戦する学力トップ層への指導は、旧帝プロジェクトで行ったが、ノウハウを継承するためにも、中堅・若手職員も参加しチームでの受験指導体制を構築すべきである。</p> <p>③○各教科とも放課後の個別指導には積極的に取り組んで頂けた。また「9時まで学習」を利用して、英語・数学・国語で旧帝プロジェクト・共通テスト対策講座を積極的に実施して頂いた。</p> <p>④○医学科合格は関西医科大学の1名であった</p>	A 31%	<p>・旧帝プロジェクトの実施を通して、受講者の模試の結果も一定の成果が出ていると思います。</p> <p>・模擬試験の回数が少し多いように感じます。代わりに、大学の先生や関係者の方をお招きして、入試で重視されるポイントや受験対策についてお話しいただく機会があると、生徒にとってより有意義なのではないかと思います。</p> <p>・放課後学習や面接指導などきめ細やかに行われている。</p> <p>・まだ受験結果は途中の段階だが、総合型、推薦型、共通テスト等の結果から、まずまずの成果を収めていると思う。</p> <p>・難関国公立は人数が出なくなっている。地方国公立の人気も本校ではなくなっている。県内国公立大学や隣接県の国公立大を中心に指導のための研究を進めたほうがいいのではないかと。難関大学に関しては関東・関西の私立大学への需要は増えている。この辺りに注力した進路指導が生徒と保護者のニーズにあった進路指導になるのではないかと。また本校のアピールにもつながるのではないかと。また本校のアピールにもつながるのではないかと。また本校のアピールにもつながるのではないかと。</p> <p>・東大京大研究会の取組として行うことも一考かと思われます。</p>	A 12.5%	<p>・放課後の個別指導などのサポート体制が整っており、心強く感じる。</p> <p>・共通テスト利用の大学が多いため、共通テスト対策を更に充実させた方がよい。</p> <p>・予備校講師による受験対策講座(受験計画の立て方、入試のポイント等)などを充実させたい。</p> <p>・生徒の学力に応じたクラス替えを行ってはいかがでしょうか。</p>

					<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定志向が顕著で、難しいことに挑戦しようとする生徒がなかなか増えない。</li> <li>・放課後プロジェクトや補講も実施されたが、一部の先生方に偏っているようにも思えた。</li> <li>・以前よりも後退しているように思う。ただし、難関大レベルは少数派の現状では、もっと国公立大学合格者数を上げた方がよい。</li> <li>・難関大対策講座については学年により実施未実施の差があり、また、一部の教員で指導を行っているのが現状であり、チームとして指導をするノウハウ作りが必要である。</li> </ul>		
Ⅲ 心豊かでさわやかな生徒の育成	社会性や道徳心の育成	<p>① 礼節を重視し、様々な場面でマナーや社会的規範意識を育成する。 正門での礼や予鈴黙想の励行、HRでの朝終礼時の指導・国旗、校旗の掲揚指導・校長講話等</p> <p>② 校内外の美化や教室等の整理整頓に対する指導</p> <p>③ 交通ルール、マナーの指導を通し、危険察知と思いやりの心を育み交通事故防止を図る。 【交通事故10件以内】日常の交通ルール指導・自転車マナーアップ教室・街頭交通指導 安全な自転車使用のため点検整備は、自転車整備士によるものとし、TSマーク等を利用</p> <p>④ 德育を強化し、思いやりの心を育成するとともに問題行動の発生を防止する。</p> <p>⑤ 生徒の観察、生徒面談、いじめアンケート等を活用して、いじめ防止に取り組む。 【いじめアンケート年3回実施・学校生活アンケート実施・保健室相談箱の設置】</p> <p>⑥ スマートフォンの使用法などSNSについての啓発を行い、問題発生を防止する。 【「スマホ安全安心講座」実施・「スマホの17の約束」配布と家庭での約束作り(地区会)】</p> <p>⑦ 教員の生徒指導力、クラス経営力向上のための研修(救急救命法、生徒指導、スマホ安全安心講座)の研修を実施する。</p>	<p>① 礼節指導。全体的に校内での挨拶等は良好である。 ◇校外での立ち居振舞い等、明誠生徒はきちんとしているとの声もあるが、集団時での行動等一層の指導が必要である。</p> <p>② 教室の整理整頓はHRにより差はあるが、担任の指導により生徒の意識向上が見られる。 サッカー部、陸上部、野球部等の清掃活動は、校内や学校周辺の清掃・除草等環境美化に貢献した。 トイレ清掃・教室内整理整頓・水回りの清掃指導を実施した。</p> <p>③ 職員による登校時の街頭交通指導により交通安全意識の向上も見られた。生徒課による下校時の街頭指導の実施。 ◇交通マナーについて、地域住民から苦情が時折寄せられた。主に一時停止不履行・併進等、職員の指導が浸透しない生徒もおり、繰り返しの指導が必要である。 ◇交通事故は18件(前年比減少) ほとんどが軽微な事故であるが、重大事故に繋がらないように、また相手自動車等の不注意による事故も増加しているため、ルールの遵守と周囲の状況の確認をさせる指導の継続</p> <p>③ ◇問題行動・校長指導 4件5名 ○各学年とも個々の生徒指導は当然あるが、全体的には落ち着いた学校生活を送っていた。</p> <p>⑤ ○いじめアンケート年3回・学校生活アンケートの実施。いじめに関する調査、学校生活アンケートは、いじめの防止、友人関係の改善や生徒指導に活用した。</p> <p>⑥ スマホ等の使用は、多くの生徒はルールを守っているが、校内・登下校中のルール違反等の生徒も見られるため、日々の指導を継続</p> <p>⑦ 救急救命法の実施による緊急時の対応・いじめに関する研修により未然防止と早期発見と対応 スマホ安全安心講座の実施によるスマホ利用の啓発</p>	<p>A 21%</p> <p><b>B</b> 60%</p> <p>C 18%</p> <p>D 1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの生徒が道徳心を持って生活できていると思う。</li> <li>・以前にも増して、道徳心や公共性に欠ける生徒が増えている。これは本校に限ったことではない。もっと全体指導+ホームルーム指導で、生徒の社会性や道徳心の醸成に対する意識を高めていく必要を感じる。</li> <li>・基本的生活習慣の定着に尽力されていると思います。</li> <li>・高校生の自転車マナーが心配されている。「自分は大丈夫」という過信を排除して、社会の中の1人という自覚を持たせたい。</li> <li>・判断力を培う場や活動の設定。</li> <li>・共通での指導事項を決めて徹底させるべきところは徹底させたい。</li> <li>・生徒指導上のトラブルへの対応や命の大切さの指導、生徒の特性に応じた関わりに課題がある。生徒への指導だけでなく、教師自身が知識技能を身につける必要がある。</li> <li>・LHRで取り組んでいくことが重要である。</li> <li>・生徒の心の健康をサポートするために、常勤のスクールカウンセラーを複数配置していただけると良いのではないかと思います。また、家庭で悩みを抱えている生徒のために、外部の専門家(カウンセラーやセラピスト)と連携し、必要に応じて紹介できる体制があると安心だと感じます。学校は生徒にとって第二の居場所でもあるため、安心して自分の気持ちや悩みを話せる環境づくりが大切だと思います。</li> </ul>	<p>A 0%</p> <p><b>B</b> 100%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車は事故の加害者にも被害者にもなり得る。交通ルールを遵守し、正しい運転をするよう繰り返しご指導いただきたい</li> <li>・正しい自転車の乗り方、違反となる乗り方のプリントを作成して指導してはどうか。</li> <li>・4月から自転車の規則も厳しくなります。並進走行もたまに見かけるので指導が必要。</li> <li>・交通ルール、マナー、いじめ、SNSなど、社会性育成のための教育は粘り強く続けてください。</li> <li>・いじめに関してはクラスの中だけでなく、部活動の中で起きていないかも確認が必要。</li> <li>・「生徒の心をサポートする」体制作りは非常に重要になってくると思う。</li> <li>・スクールカウンセラーの常勤化を望みます。</li> </ul>
		基本的な生活習慣の確立	<p>① 正しい身だしなみの指導を徹底する。 学年全体校風指導年6回実施</p> <p>③ 制服等の着用指導を徹底する。</p> <p>④ 基本的生活習慣の指導を職員の共通理解のもとに実施する。</p> <p>⑤ 校則の遵守</p> <p>⑥ 感染症等対策の実施・健康管理指導 手洗い、うがい・手指アルコール消毒・教室の換気等の習慣化を図る。</p>	<p>○学年校風指導を6回実施。服装面で大きな乱れはない。</p> <p>○基本的な生活習慣はある程度確立されていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制服等の着用状況は良好である。</li> <li>・体育、清掃・作業時以外のジャージ着用は見られない。</li> </ul> <p>○生徒は校則をおおむね遵守していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ等の指導に関しては日常の継続指導が必要であり、慣れからルールにならないよう注意</li> </ul> <p>○各HRの手指消毒薬の設置継続と教室の換気等の指導継続</p>	<p>A 21%</p> <p><b>B</b> 71%</p> <p>C 7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場や冬場に若干の服装の乱れはあるが、全体としては良好である。</li> <li>・挨拶はよくできている。</li> <li>・登下校の挨拶習慣や、清掃の取り組み等が維持できており、明誠の特長になると思う。</li> <li>・終礼後、スマホの返却が行われると、教室や廊下、東館で当たり前のように使用している生徒も多数見られた。</li> <li>・生徒の成長が見て取れます。</li> <li>・一部、清掃活動への取り組みが不十分ではないか。</li> </ul>	<p>A 25%</p> <p><b>B</b> 75%</p> <p>C 0%</p>

		保健室便りの発行。毎月1回「すぐーる」を利用		D 1%	・共通での指導事項を決めて徹底させるべきところは徹底させたい。 ・生徒指導での基準が教員によって違いがあると感じている。女子生徒の化粧が常態化しており、制服の着こなしなども乱れている生徒が散見される。全教員が同じ基準で徹底するようにしたい。	D 0%	
	部活動の充実	①学習と部活動の両立を一層推進しつつ、生活面での指導も強化することにより、心身を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う。 【部活動加入率80%以上】 ②県大会や全国大会への出場及び各大会での上位進出を果たす。 【県大会出場～全ての部、全国大会出場～4部】	○多くの生徒が部活動に加入している。部活動・同好会加入率約80% ○各部のテスト前の集団学習が活発に行われた。 ○各部活動生徒が挨拶・行事等、先頭に立って集団をまとめ積極的な活動が行われた。 ○大会・試合の結果のみならず、各部活動を通して人間形成にしっかりと取り組んでいる。 ◇部活生徒の登下校時の服装、早朝時の自転車走行注意 ・「併進、右側走行、一時停止」について指導 ・早朝時の登校服装注意 ○チアリーディング部の全国大会1位、世界大会1位(USAフロリダ)。バスケットボール部の全国高校総体ベスト8、全国高校選手権大会ベスト8と世界、全国での活躍があった。陸上競技部は5種目6名の東海地区大会出場4種目3名の全国総体出場と活躍した。射撃同好会の国民スポーツ大会出場。サッカー部は、県高校選手権大会ベスト4。柔道部の県総体個人100kg超級、2位、東海総体出場。陸上部県駅伝2位東海大会出場等県大会での活躍があった。また多くの部が県大会に出場する活躍を見せた。文化部では、棋道部が県新人大会男子団体戦で2位。囲碁部では女子個人で全校大会に出場。MLACは英語ディベートでの全国大会に出場、予選リーグを突破しトーナメントに出場するなど活躍した。また、吹奏楽部も県大会コンクールや重奏コンテスト金賞等の活躍があった。 ○【県大会出場:ほとんどの部 東海地区大会:4部 全国大会出場:6部】	A 57% B 39% C 4% D 0%	・各部積極的に活動しており、所属する生徒の満足感や自己肯定感の育成に繋がっている。進路にも繋がっている。 ・学校の印象にも大きくつながる活動なので、今まで以上に各活動が充実することを期待している。 ・各部、意欲的に活動していて、生き生きする姿が見られている。 ・熱心に各先生が取り組んでいる。 ・各部活動が精力的に活動できている。 ・スポーツに力を入れている生徒のために、アスリート向けの特別なプログラムやカリキュラムがあると良いのではないかと思います。将来の目標に合わせた学習内容にすることで、生徒の意欲向上にもつながるのではないかと感じます。 ・物理的な制限の中で、精一杯のことをされていると思います。 ・全国大会出場レベルを維持できている部活動もあるが、特にメンタルケアも含め、心のケアも部活動顧問だけでなく不可欠である。	A 87.5% B 0% C 12.5% D 0%	・学習と部活動の両立は時間管理も含め難しい点もあるが、自律心、責任感が育ち、コミュニケーション能力の向上にもつながる。 ・部活に関してはすごく熱心に取り組まれていると思う。挨拶も気持ちがいいほど大きい声でしっかりできている。 ・多くの生徒が学習と部活の両立を実現しており、すばらしい。 ・全国レベル、世界レベルの部活動の中であっても、平凡な能力の生徒が部活動を楽しめるような環境であることを期待しています。 ・部員数の多い部活動では、選手が満足しているか、指導が自己肯定感の育成につながっているか等を確認したい。 ・大学進学にあたって、部活動所属経験によって、自身の経験・能力と大学での学びの関連性を説明できやすくなる。
IV 広報・渉外活動の充実	広報活動による学校理解の促進	①広報誌の発行、ホームページの活用等様々な手段を通して、本校教育に対する保護者や地域社会の理解を深める。 ②ホームページ(HP)の更新を積極的に行い、効果的な情報発信を行う。 【数値目標 年間アクセス数600,000アクセス】 ③学校説明会参加者を増やす情報を提供する。 ④本校理解がより深まり、募集に効果的な内容にするために、広報誌等の見直しを行う。 ⑤地域の自治会等への情報提供や学校行事への招待等を積極的に行い、学校理解の促進と広報の推進を図る。	①○「明誠ニュース」「進路だより」保護者会広報誌「初心」など予定通り発行した。 ○部活動・同好会の様子を紹介し、中学生の多様性に対応できるように努めた。 ○保護者会地区会でも出された質問や要望への回答を文書で配布した。 ②○HPのアクセス数が約8%増加したが、数値目標の60万アクセスには届かなかった。 ・2024年4月1日～2025年3月31日のアクセス数574,291(+42,196) ③○学校説明会への参加者数(1日体験入学、直前相談会を除く)は、例年以上を確保することができた。 ・H4・1,305人 H5・1,285人 H6・1,457人(172人増) ④○見直しを行ったほか、新たにアクティブASコースのリーフレットを発行、配布した。 ⑤○入学式、卒業式、文化祭、体育大会に自治会役員を招いた。	A 24% B 60% C 13% D 3%	・英数科のイメージ刷新など本校の特色や変化の周知に努めた。古い認識を持った中学の現場や保護者が多いので継続的にやっていく必要がある。 ・HPが充実し、明誠生の活躍や学校生活の様子を見ることができたと感じた。 ・新設されたアクティブASについていい評判を耳にした。 ・一日体験、説明会を通し、広報活動が精力的に行われている。 ・土日を含めてよく組まれたプログラムだと思います。 ・対外的な発信力が弱すぎる。外部への説明会、学習塾への発信、および担当者の手腕も問われるところかと思う。 ・HPでの広報や新聞社等への投げ込みを、もう少し積極的に行いたい。 ・SNS等を用いた、時代に合った広報活動を考えていく必要がある。 ・現在に即した広報活動を実施したい。	A 0% B 100% C 0% D 0%	・学校説明会、一日体験では生徒の主体的な参加で受験生に好ましい印象を与えていると思います。 ・部活動を通じた中学生との交流会を実施し、各部活動の深い理解とアピールにつなげてはどうか。 ・HPの更新を積極的に行ったところが良かった。これからも更新頻度を上げればアクセス数も上がると思う。 ・HPだけでなくSNSを通じた広報活動にも力を入れると良いです。

	<p><b>積極的な渉外活動の実践</b></p>	<p>①小中学校への積極的な学校訪問等により募集の拡大を図る。併せて、入学者の増加に有効な方策を具体的かつ速やかに実施する。</p> <p>②焼津・藤枝・島田・榛原・小笠・静岡西の小中学校を対象とし、組織的に募集活動を展開する。</p> <p>③学習塾への訪問を行い、募集の拡大を図る。</p> <p>④県外募集の充実を図り、有為な生徒の確保に努め、入試内容・方法について見直す。</p> <p>⑤「1日体験入学」「入試直前相談会」の充実、取り組みの強化を図る。</p> <p><b>【学則定員の確保】</b></p>	<p>①◇年間の生徒・保護者の総動員数は4,121人となり、昨年度(4,321人)より200人減少した。</p> <p>②○志太・榛原・小笠・袋井地区への中学校訪問を職員で分担し、3年主任や進路指導主事と直接面談して募集拡大を図った。また、静岡地区では重点校を絞り募集活動を行った。</p> <p>③○職員が分担で学習塾への訪問を行った。</p> <p>④◇福岡奨学生入試では1名の単願入学者があった。札幌奨学生入試は受験者がなく、札幌一般入試は、受験者が1人であった。</p> <p>⑤◇1日体験入学の参加者は2,170人で昨年度より313人減少した。入試直前相談会の延べ参加者数は494人で昨年度より45人増加した。</p>	<p>A 31%</p> <p><b>B</b> 53%</p> <p>C 13%</p> <p>D 3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日体験入学に関して、企画としてはとても良いと思うが、毎年職員が足りず、てんやわんやなので、時期を考えた方がいいと思います。</li> <li>・学校説明会や入試直前説明会に多数の中学生・保護者が来校している。</li> <li>・外部への浸透力が弱い。明誠の特長等を、効果的なアピールで学校をあげて取り組まないと、生徒募集にも大きく関わる現状である。</li> <li>・県外入試の見直しや渉外活動の回数、開催場所を再検討し、回数より効果を重視していくべきではないか</li> <li>・旧態依然の広報活動では集まらない。改善を。</li> </ul>	<p>A 0%</p> <p><b>B</b> 100%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット広告は更に力を入れてみてはいかがでしょうか。</li> <li>・授業料が無償化されるので、特別な対策が必要に思う。</li> </ul>
<p><b>V 教育施設・設備の活用</b></p>	<p><b>安全で快適な教育環境の実現</b></p>	<p>①学習活動や部活動が安全かつ快適に実施できるよう常に配慮する。</p> <p>トイレ・水場の清掃活動の徹底。教室・廊下で汚れが目立つ箇所の点検と業者によるクリーニングを実施</p> <p>スズメ蜂による被害防止のために駆除用具の設置を実施</p> <p>②清掃状況を具体的に指示し学年主任や清掃担当と協力して清掃指導の徹底を図る。また事後の点検では不定期で総務課による点検を行う。</p> <p>教室・廊下・階段の蜘蛛の巣除去と防止のために清掃と薬剤添付の実施</p> <p>③破損箇所の把握と迅速な修繕を図る。<b>【6月・11月・2月の一斉点検実施】</b></p> <p>④電気、紙等の節約を励行し、経費と資源の有効活用を心がける。</p> <p>⑤消灯、戸締まりの徹底を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニングルームの使用について注意・説明会を行う。</li> <li>・夜の施錠確認は日直と引継ぎ者の報告から不備のあった施設の管理担当に報告する。また全体への連絡により徹底を図る。</li> </ul> <p>⑥地震発生時の避難や防災に関する訓練・学習会を5月と8月に実施し、生徒の安全を確保する。5月は志太消防と連携した連絡訓練、8月では防災学習会を導入</p> <p>⑦地区懇談会で出た保護者からの意見・要望に毎年回答を出しているが、施設面での意見・要望については特に配慮して可能なところから改善していく。</p> <p>⑦ 原子力災害に対する避難計画を作成する。</p>	<p>①毎水曜日早朝に理事長点検を実施し、施設の安全を確保した。清掃活動に力を入れた。水場・トイレ・階段の清掃状況は安定している。トイレの床清掃などに差がある。</p> <p>テスト期間の簡単な清掃も定着しつつあるが、教室により差がある。</p> <p>春季休業中に教室廊下を業者による清掃とワックスを施行。通常清掃できれいな状態の維持に努めた。</p> <p>窓枠の清掃と潤滑剤の塗布によるメンテナンスを実施すると同時に、開閉に支障が出ている箇所を確認し事務から修繕の依頼を出した。</p> <p>②掃監督者と協力を図りながら清掃指導はできている。点検後の対応も早くなった。</p> <p>③破損箇所の報告と修繕は迅速に行われている。</p> <p>④消灯、空調のスイッチオフ等の節電については、夏場を除けば改善されている。職員への配布物に関しては掲示板の有効に活用、家庭への配布物に関してはさくらメールを有効活用することができた。</p> <p>⑤全体的に未施錠件数は減少した。</p> <p>⑥5月に防災避難訓練、8月に防災学習を実施した。</p> <p>5月の防災訓練では自衛隊による防災学習会を体育館で実施し、防災意識と知識の向上に努めた。</p> <p>⑦原子力災害に対する避難計画は未作成であった(藤枝市の指針が未発表のため)。</p>	<p>A 18%</p> <p><b>B</b> 54%</p> <p>C 25%</p> <p>D 3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の安全点検、防災器具の点検などは管理職・事務と協力して進められている。</li> <li>・エアコンの設備改善も終了し快適性が増した。</li> <li>・心配な点として蛍光灯が2027年で完全に製造廃止となる。本館校舎以外の施設で一部蛍光灯が使用されている所のLED化を至急実施しないと、器具そのもの購入設置が滞る可能性がある。</li> <li>・セブンの自動販売機やコード決済対応の自動販売機が増えて便利になった。</li> <li>・教室の環境は大変良くしてもらった。体育館の整備が次は課題であると思います。</li> <li>・調理室が、各学年や進路、模試関係の資料置き場として利用されている状況があり、調理実習を行う場として衛生面で心配があるため改善が必要だと思う。</li> <li>・施設のバリアフリー化も検討すべきではないでしょうか。</li> <li>・先行して取り組んでおられると思います。</li> <li>・一部老朽化が見られるが、概ね清潔が保たれており、良好である。</li> <li>・自然災害等を視野に入れ、防災教育のスキルをもっと上げるべきだと思う。</li> <li>・エアコン等の故障が多すぎる。</li> <li>・災害時、校舎内からグラウンドに避難する経路上の安全確保について、改善が必要。(サッカーゴールの位置)</li> <li>・窓ロックや破損している机イスなど、生徒が安全に生活するための環境整備。また、それらの使い方についての指導も併せて必要だと思う。</li> </ul>	<p>A 0%</p> <p><b>B</b> 100%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な方策を掲げ、計画的に安全管理の取組を実施されていると思います。</li> <li>・学校自己評価では様々なコメントがあり、個人の気づきを全体の安全管理として活かすことはリスク低減にもつながると思います。</li> <li>・予算的に大変だとは思いますが、体育館の空調の整備を検討すべきだと思う。</li> <li>・放課後等通常とは異なる状況下での災害を想定した防災訓練も必要と思います。</li> </ul>